



「Four Seasons Hotel Moscow」は、モスクワ中心部に圧倒的存在感で君臨していた伝説的ホテル「旧ホテルモスクワ」の跡地に新たに再建され、モスクワを代表する迎賓館的ホテルとして2014年秋にオープンした



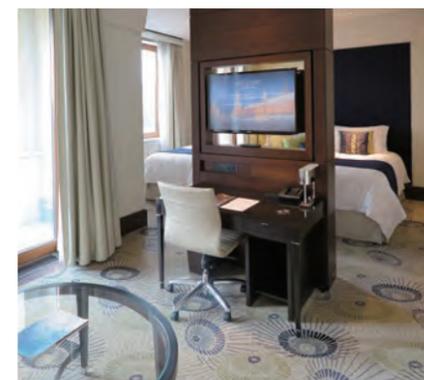
「Four Seasons Hotel Moscow」の正面エントランスから赤の広場方向を眺める。何よりも、「赤の広場」や「グム百貨店」、「クレムリン」も徒歩数分という好立地は、このホテルの醍醐味でもあり貴重である



フォーシーズンズ ホテル モスクワの威風堂々たる正面ファサード



正面玄関でこやかにゲストを迎えるドアマンとベルキャプテン



「Grand Premier Room」のリビングからベッドルーム方向



約70㎡の広さを持ち、クレムリンを望むバルコニー付きの部屋だ

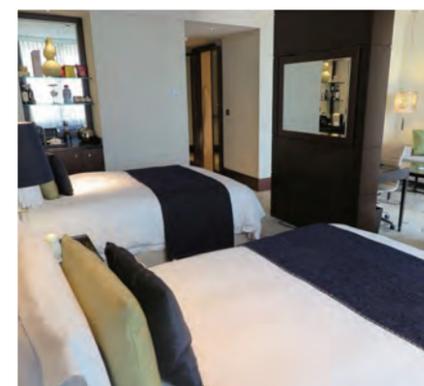
世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエグゼクティブが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。



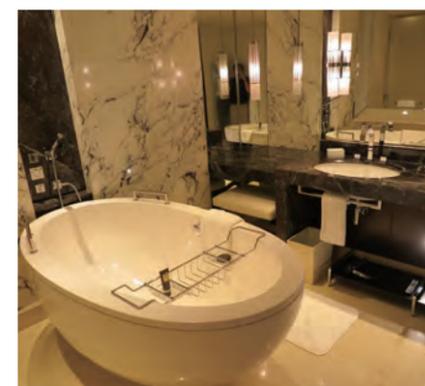
筆者 **小原 康裕**
ホテルジャーナリスト
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年 Munich Re 入社。85年築地原健樹代表取締役。2001年投資顧問会社原健設立、代表取締役 CEO。JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント協会理事。
www.jhrca.com/worldhotel
現在、筆者のホームページで「世界のリーディングホテル」を連載中。私のファーストアルバム「World's Leading Hotels」はお陰様で好評を頂いておりますが、写真集第2弾「World's Prestige Hotels世界の名門ホテル」を去年6月に発刊いたしました。独自に取材した世界各地の最高峰ホテルを華麗な写真と共に解説しております。ファーストアルバムに引き続きご愛読して頂ければ幸甚に存じます。



吹き抜きの大空間が広がるロビーラウンジ「Silk Lounge」



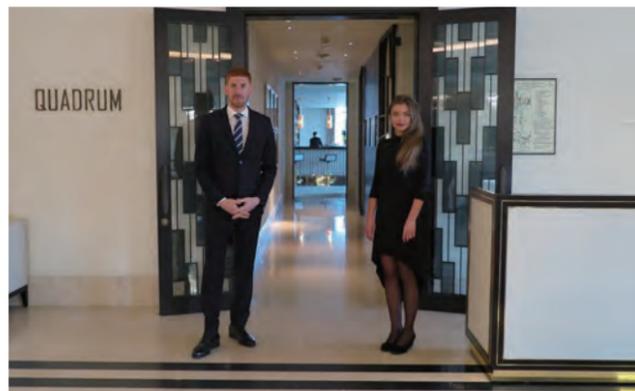
ベッドルームからバスルーム、ワードローブ方向



独立した大型のバスタブがユニークだ



メインダイニング「Quadrum」。この魅力はレストランの位置であろう。窓側の席から、赤の広場やクレムリンの建物が間近に望め、これ程のぜいたくな空間は世界でも極めてまれである



インダイニング「Quadrum」のスマートなエントランス



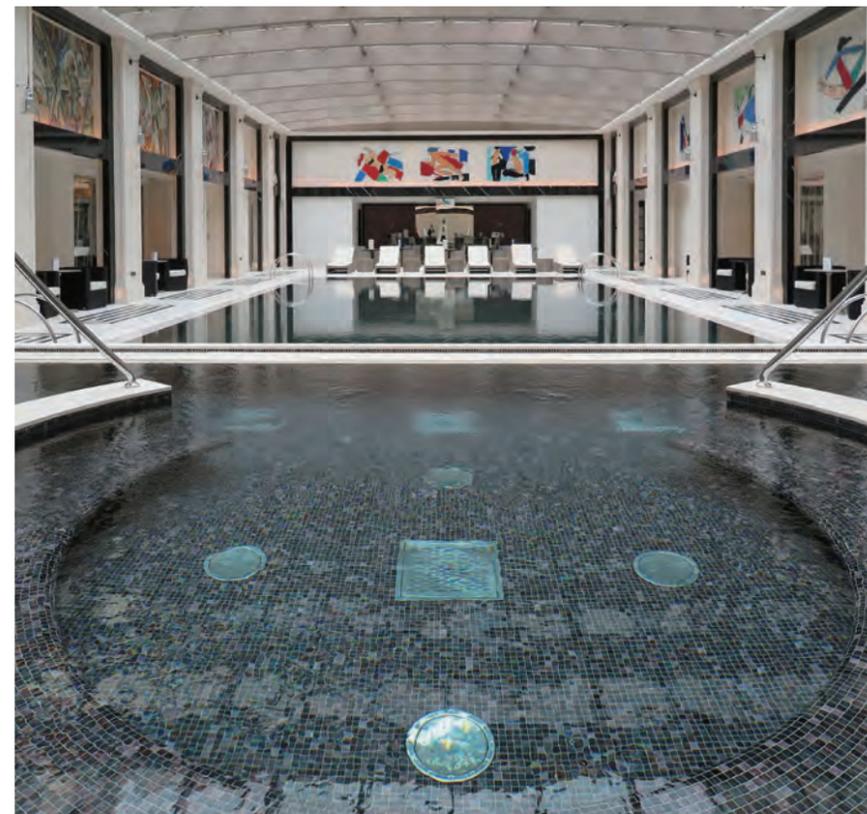
イタリアン・地中海料理の店だがフレンチの要素を根底に置いている



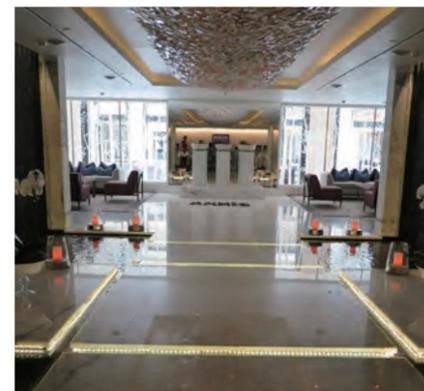
レストラン「Bystro」はブレイクファスト専用として用意されメニューも豊富だ



「Quadrum」のスタイリッシュなバーコーナー



スパ施設「Amnis Spa」のジャグジーとスイミングプール。トップライトから差し込む日光で、タイルのブルーの色彩が美しく映える



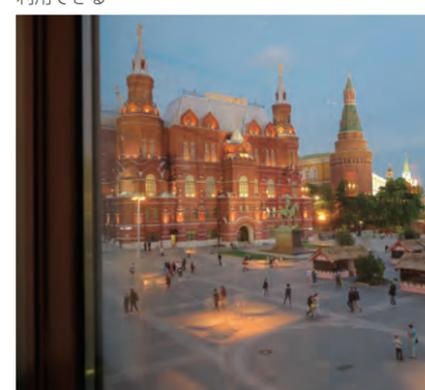
「Amnis Spa」の広大なエントランスフロア。約 3000㎡のモスクワ最大の規模を誇る



プールサイドにはしゃれたカフェ「Amnis Café」が利用できる



大理石の床に生花のアレンジメントが映えるエントランスホール



「Quadrum」の窓側席から望む、夜間の照明が美しいクレムリン

トランからクレムリンの建物が望める理想的な環境を誇る、モスクワを代表する迎賓館的ホテルだ。モダンな客室は設備も申し分なく最低でも 40㎡以上の広さがあり、パブリックスペースも余裕の面積を確保している。

旧ホテルモスクワは、1930 年代のモスクワ都市再開発に関連して計画され、二度の政府コンペを経て 1935 年に開業した。ロシア伝統の構成主義と古典主義が混在した建築様式に、約 1000 室の客室を備えた最高級ホテルであった。そのため当初計画より 3 倍の規模と費用が掛かった大型工事と言われる。その後のソ連崩壊などの変遷を経て、2004 年の大規模地下駐車場の建設に合わせホテルは解体された。新しいホテルの外観は旧館のクラシカルな趣を正確に再現し、住宅、オフィス、ショッピングセンター等を含めて華々しくオープンした。

FS/M は 41 のスイートを含む全 180 室の客室を擁し、1930 年代の古典的な要素を取り入れつつ、館内は気品あるコンテンポラリーな雰囲気に生まれ変わった。筆者にアサインされた部屋は「Grand Premier Room」で、約 70㎡の広さを持ち、クレムリンを望むバルコニー付きの部屋だ。メインダイニング「Quadrum」はイタリアン・地中海料理だがスマートなフレンチの要素を根底に置いている。この魅力はレストランの位置であろう。窓側の席から、赤の広場やクレムリンの建物が間近に望め、これ程のぜいたくな空間は世界でも極めてまれである。レストラン「Bystro」はブレイクファスト専用として用意されメニューも豊富だ。スパ施設「Amnis Spa」は 3000㎡のモスクワ最大の規模を誇り、17 室のトリートメントルームを持つ。スイミングプールは、トップライトから差し込む日光が気持ちよく、プールサイドカフェ「Amnis Café」が利用できる。

モスクワのホテルは総じて古色を帯びたセピア色といった印象が強いが、近年、欧米のラグジュアリーホテル・ブランドが進出し、FS/M はその代表格と言えよう。フォーシーズンズ流の洗練されたホスピタリティと館内施設はゲストに至高の充実感を与える。何よりも、赤の広場やグム百貨店へも徒歩数分という好立地は貴重である。